

第 17 回技術交流会（第 421 回本部共催・実技協 東海北陸支部）

『動物実験の明日をつなぐ ～動物実験を伝え、理解してもらうために～』

私たちの日常生活において、動物実験は多大なる貢献をしています。しかし、残念ながら必ずしも正しく理解されるとは限らず、ネガティブなイメージを持たれることもあります。動物実験に関わる人々が一般の方々に向けて情報発信を行い、正しく理解してもらおうと働きかけることは、ネガティブなイメージの払拭だけでなく、責任ある立場として誇りを持って業務を行う一助になります。そこで今回、東海北陸支部では動物実験の情報発信について考えたく、「動物実験の明日をつなぐ ～動物実験を伝え、理解してもらうために～」をテーマとし、講演会を企画しました。

本講演では、動物実験関係者連絡協議会の第 9 回シンポジウムでも取り上げられた、イギリスで市民への啓蒙活動に尽力されてきた Wendy Jarrett 先生（Understanding Animal Research）のビデオの紹介をいたします。ビデオの中では VR（virtual reality）による施設紹介があり、新しい啓蒙方法が紹介されています。一方、映像コンテンツを用いて日本でわかりやすい動物実験教育に取り組まれておられる三浦 竜一先生（東京大学ライフサイエンス研究倫理支援室）をお招きし、その取り組みについてご講演いただきます。また、中野洋子先生（帝京科学大学生命環境学部）には、それぞれの立場から動物実験を正しく伝えることについてご講演いただきます。

この講演会が、我々にもできることを一緒に考える機会になれば嬉しく思います。

本講演は事前登録制といたしますが、会員の方だけでなく非会員の方もご参加いただけますので、ぜひご検討くださいますようお願いいたします。

テーマ「動物実験の明日をつなぐ ～動物実験を伝え、理解してもらうために～」

開催日時：2022 年 2 月 19 日（土）13:00～16:30（予定）

開催方法：ミーティングアプリ Zoom を用いたオンライン形式

定員：75 名

参加費：会員 無料、非会員 2,000 円

参加登録：事前チケット購入制（PassMarket）

お問い合わせ先：日本実験動物技術者協会 東海北陸支部事務局（石河 三重大学）

mail@jaeat-tokaihokuriku.org

059-231-5033

共催 日本実験動物技術者協会

プログラム

1. はじめに 中野洋子 先生（帝京科学大学生命環境学部）
2. Understanding Animal Research: How and why we explain animal research through public engagement in the UK. （ビデオ講演。ご講演は英語ですが日本語字幕が表示されます。）
Wendy Jarrett 先生（Understanding Animal Research）
3. 多様な映像コンテンツによる動物実験教育への活用（仮）
三浦竜一 先生（東京大学ライフサイエンス研究倫理支援室）
4. それぞれの立場から動物実験を正しく伝えるために（仮）
中野洋子 先生（帝京科学大学生命環境学部）